2024（令和6）年度 第4回名張市差別撤廃審議会 会議録（概要）

日時：令和6年12月20日（金）午前10時～

場所：名張市役所 3階 301・302会議室

<出席者>

公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 常務理事兼事務局長 松村 元樹
一般社団法人 部落解放・人権研究所名誉理事 友永 健三
社会福祉法人 名張市社会福祉協議会代表 杉本 丈夫
部落解放同盟三重県連合会名張市協議会代表 西野 紳一
特定非営利活動法人代表（「生活支援グループこんにちは」理事） 鈴木 隆文
人権擁護委員代表 岩並 正見
名張市副市長 中村 岳彦
名張市教育委員 辻 愛
名張市人権センター代表 今村 洋子
名張市小中学校長会代表（比奈知小学校校長） 伊藤 博之

<欠席者>

地域づくり組織代表（中央ゆめづくり協議会） 高尾 松男

<事務局>

人権・男女共同参画推進室 室長 藪本 真治、係長 山下 眞珠、室員 森下 亜季、
室員 保田 謙吾

・開会

（事務局）ただいまから、2024年度第4回名張市差別撤廃審議会を開催させていただきます。

本日の会議は公開とし、議事録作成のため、音声収録をさせていただきますので、ご了承ください。また、会議は12時をめぐりに終了させていただきたいと思いますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

事項に入ります前にお手元にお配りいたしました資料の確認をさせていただきます。まず事項書と、資料1-1、1-2、1-3、1-4、1-5、資料2となりますが、お手元にご覧いただけますでしょうか。ない資料がございましたら、事務局の方にお申し出ください。

それでは、事項1の開催にあたりまして、中村副市長よりご挨拶させていただきます。よろしくお願いいたします。

1. あいさつ

（中村副市長）皆様、改めましておはようございます。本日もよろしくお願いいたします。

今回、今年度の差別撤廃審議会につきましては第4回目ということで、7月から何回か皆様にご協力をいただいて、開催をさせていただいてるところでございますけども、そもそも審議会の方に、この計画の策定について市長の方から諮問させていただいたご経緯ということでございますけども、国における人権関係の法の制定改正、あるいは三重県の方で、差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例が施行されるということで、計画を1年前倒しして改定作業を進めさせていただいて、本日に至っているわけでございますけども、短い期間の中で、いろんな委員の皆様からご意見いただいた内容を、計画としてこういう形でまとめさせていただきましたこと、様々なご意見を賜りましたことについて、この場をお借りしてお礼を申し上げます。この後、3月の議会に向けてこの計画を議会に諮っていくところもございますので、きっちりとした形で上げさせていただければと思いますので、本日の会議も含めまして、引き続きご意見等よろしく願いいたします。

2. 会議成立確認

(事務局) ありがとうございます。

次に事項2に移らせていただきます。会議成立の確認でございます。本日の会議は委員11名中10名のご出席をいただいております。名張市差別撤廃審議会規則第5条2項に基づき、過半数の出席がございますので、本会議が成立していることをご報告申し上げます。

ではこの後の議事進行につきましては、岩並副会長の方をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

3. 議事

(副会長) 皆さんおはようございます。本日は会長が体調を崩されて急遽会場には来れないということで、議事進行を承りました。慣れませんので、つたない進行で申し訳ないんですけども、皆様ご協力よろしく願いいたします。会長、もしよろしければ一言ごあいさつをいただけましたら助かるのですが。

(会長) 皆さん、おはようございます。昨日から39度の熱が出てしまいまして、インフルかコロナに多分おそらくかかっているのだろーと思います。今日パブリックコメントを受けてどのような形で反映するかということで、非常に重要な審議会になると思います。また答申内容につきましても検討させていただき、年明け市長に向けて答申をさせていただきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

(副会長) 会長ありがとうございます。それでは早速ですけれども、議事の方に移りたいと思います。まず、第4次人権施策基本計画案についてのご説明を事務局の方からよろしく願いいたします。

(1) 第4次人権施策基本計画(案)について

【資料1-1、1-2、1-3、1-4、1-5】【事務局説明】

(副会長) ありがとうございます。いただいている資料で、抜き出しをしていただいているところ等、赤字で訂正を入れていただいていますのでわかりやすいと思いますが、皆様先ほどの説明に関しましてご意見ございましたらお願いいたします。

(委員) よろしいですか。今の説明で全く異論はないんですけれども、参考でわかったら教えていただきたいのは、子どもの居場所事業の報告ありましたよね。実はうちの地元でも子どもの居場所事業やってるんですけども、財団の助成金もらってやってるんですけども、そうすると3年が限界で、ちょうど今年3年目になって、来年どうするかっていうことで、議論をやってるんですけど、幸い、こども家庭庁が居場所事業について予算化してるんです。ただしこれは国が補助するんで、実際は手を上げなアカンんです。名張市は手を挙げて、そのこども家庭庁の予算を確保してやっておられるのか、もしも分かればまた教えてもらいたい。

(事務局) また後程でもよろしいでしょうか。こちらもそこまで確認してなくて申し訳ありません。

(委員) わからなかった後でもいいので教えていただきたいです。どういうふうにしてこども家庭庁の予算を取ってるのか。やり方をちょっと教えてもらいたいです。

(事務局) その予算をとってるかどうかも含めて確認させていただいて、また後日ご連絡させていただきます。

(副会長) ありがとうございます。他にどなたかありますか。

(事務局) 今ご説明させていただいたのが、これまで委員さんからいただいた意見、それから庁内の主管室長会議、庁議でいただいたご意見まとめさせていただいたもので、この案をもとに先ほどご説明させていただきました市民の方に意見を求めるパブリックコメントというのを実施させていただきましたので、そちらでいただいた意見等について、続けてご報告させていただきたいと思うんですが、よろしいでしょうか。

(副会長) はい。お願いいたします。

【事務局説明】

(岩並副会長)

ありがとうございました。こちらの方からのご意見に関しては、その他ということでご回答するというので、ここに反映することはないということ、何かご意見ある方いらっしゃいますか。

(委員) よろしいですか。まず 1 ページでお伺いしたいのは、回答って書いてますけれども、どういう方法で回答するのかということです。おそらく、その質問した人が特定できないと思うんですね。できるかできないかも含めてお伺いしたいんですけど、まず、この回答をどのようにして回答されるのかやり方を聞きたいのと、私もやっぱり、大体この指摘というのは共通したもので名張市だけである意見じゃなしに、個人的にちょっと人権に反感を持って人の意見やと思うんです。ということは、やっぱり基本的にこの考え方がどういう点で間違ってるかっていうのは、やっぱりそれぞれの専門家とかそれぞれの民間団体から見解が示されてると思うんです。やっぱりそれはこういうふうにこの考え方については整理されてるということは知らせなきゃいけないんじゃないかと私は思います。

もう 1 つは、三重県の具体的な数字を上げられる部分はあるんじゃないかと思います。例えば意識調査で、この問題についてはこういう市民の意識が結果として出てくるんで、やっぱり啓発が必要なんですということは言えると思うんです。丁寧にそういうふうに反論した方が、これはちょっと回答になってないと私は思いました。やっぱりきっちり専門家とかの意見ではこういうふうに整理されてますということで知らすべきだと思ふというのが私の意見です。

今後の啓発の課題だと思うんです。具体的にこうやってご意見出してくれたわけですから。どこに焦点を当てて啓発していかなあかんかっていうのが、この意見のおかげでわかってきたわけですから。

(事務局) 今回、パブリックコメントでいただくのが基本的にその計画に対する質問とかなので、本来でしたらこういった施策を追加したほうがいいんじゃないとか、この施策はなくてもいいんじゃないかというようなご意見いただく中で、趣旨が違う形になってきます。回答方法につきましては、採用でありますとか、不採用でありますとかっていう回答をホームページ上でさせていただく形になります。

今回、質問という形で頂戴したので、例えばどういった形で回答したらいいのかなって考えた中で、パブリックコメントとしての回答については、多分この形が一番正しいのかなと正直思ってるところでございます。それで、私どもも感じてたのが、こういったネットとかで答えると、あしらってるような感じもありますし、ちょっと偏った考え方を持たれてるっていうような形の方でもありますので、そこは私どもが今度は啓発であるとか、そういったところで補っていかなあかんとかかなっていうところも実際思ってるところでございま

す。

(委員) 私の質問に戻して言いますと、今の回答でわかってきたことは、1つは本人に回答するんじゃないにインターネット上でってことですね。

2つ目は、私はその場合でもこんな回答をインターネット上で載せてたら市の権威が落ちると思うんです。何かやっぱりそれが逃げてるじゃないかというふうに思われると思うんですよ。私はこの回答には反対ですよ。こんな回答したら、名張市の権威が落ちますよ。私はやっぱりきっちり答えなあかんと思います。他の委員の方の意見も聞いていただいたらいいと思いますけど。この回答はネットで載せたら、名張市の恥やと思います。

(事務局) そうしましたらその具体的な件数がのるところについては書くような形で、丁寧に対応させていただいて、本来のパブリックコメントでの趣旨っていうのがずれないように形で回答をさせていただきたいと思います。今おっしゃっていただくように、今ここで聞かれているのがLGBTの方の件数であるとか、もう1件、今後名張市がそういう方を雇うのかどうかというところもありますので、そこはまた関係部署と協議しながら回答するような形でさせていただきたいと思います。

(委員) 委員の意見と同じなんですけど、パブリックコメントに上がってきたものについては、全部回答して載せなければいけないんですか。それとも、ここに出てくる趣旨、範囲とは異なるのでその他ということで、こういう趣旨とは異なりましたけれども、パブリックコメントに対する意見が1件ありただけの表記でやめるのか、そこが気になるんです。

というのは、質問というか意見の概要を読ませてもらったら、もちろん名張市のホームページでパブリックコメントのところを、どれだけの間が見るかわかりませんが、これを読んだときに、そういうことがあるんやとか市民の中でも読み込む人いますよね。だから、この人はどういう思いで意見言うてきたかわかりませんが、逆にこういうことをみんなに知ってもらいたいって思う意図からすると、ホームページにこの意見を載せることはその人の思うつぽになりますよね。みんなこう思ってるやろっていうことに繋がりますよね。それは、僕は先ほど委員がおっしゃった名張市の回答の質の問題にも関わってくると思うんです。だからこれを趣旨とは違う意見でしたけれども、その他の意見として1件ありましたっていう文面だけでホームページ上は終わらせて、それでパブリックコメントの趣旨が合ってるんなら、回答してしまう方がいいと思っています。先に質問もありましたけど、特定されるのかされへんのかにもよりますけれども、そこらは、丁寧な啓発に繋がる意図で対応してもらうのがいいと思います。全体にこれを載せることは、逆に違う意図を読み込む人達が出てくる可能性があって、せっかく作った人権施策基本計画に反対する人をふやすだけの、趣旨の内容を載せることになるとは思いますけどね。

(事務局) 基本的には多分いただいた意見はそのまま載せるっていうのがあるんですけど、今の意見を聞いて、もちろん私どもの中でも確かにこれを出してしまっているのかどうかという議論もあったんですけど、全部載せなアカンっていう方針の中で動いたところもありましたので、そこはちょっとまた確認させていただいて、ただ、どうしてもいただいた意見については載せる必要があるってことでしたら載せる形になるかと思うんですけど。

(委員) ただ載せるとするんだったら、先ほど言われた委員のように、それについての回答をもっと丁寧に名張市としてはそういう考えではありません。LGBTQの教育、学校現場の教育については、こういう意図でこうやってますとか、外国人就労者については、労基やいろんなところでこういう施策があって、例えば名張で働いてる外国人に対しては、言葉悪いですけど監督下の中で、企業の社長とか、実際に研修を受けてるわけですよ。ほんでその子やその家とか、それだけの問題ではないってことで、就労についての相談業務をやってるし、それに対して不平、不満をもってる外国人の人については、東海エリアであったりとか、いろんなところでその企業に対して結構な指導が入ってるのが現状で、それとは別の違法労働者が名張市にいるんかっていう話になってきたら、またそれは全然別の問題で、そこらをどれだけきちんと丁寧に答えていくかっていうことでやらないと、この質問はちょっと違う、名張市としてはこういうことを考えてこの施策を作ってるんやというところまで載せるんやったら丁寧に回答しないと、委員の言われる名張市の質の問題に陥る可能性は絶対あると思います。

(事務局) わかる範囲で調べて、その他の意見として問題があるということであれば、意見がありましたっていうように載せるかってもう 1 回検討させていただきます。これだけの分量のご意見ですけど、このパブリックコメントの最終日に我々の室の窓口を持ってこられたんです。ご本人さんが封筒に、住所、お名前を記入して。それで中を見ると、びっしり手書きでこれだけの質問を書かれていました。ですので、本人さんに直接回答することも可能ですけども、ホームページ等で公表ということになるのかなと思ってます。その辺調整して、丁寧な回答を行いたいと思います。ありがとうございます。

(委員) 現実に、一部の政党とかが同和教育は必要ないっていうことを訴えてるわけで、同和教育をやっている市町であるとか都道府県に対して、それは必要ないということを使うわけじゃないですか。やってることに対して裁判まで起こしておかしいって言ってやるでしょ。それで勝つはずもないような裁判を起こして、それを最高裁まで控訴しながら、それをネタにキャンペーンはるっていうのは、絶対自分らの意見が正しいなんていうんじゃないで、そのキャンペーンをマスコミを通して流すことで、こういう考え方おかしいですよっていう宣伝に使ってるだけじゃないですか。だからその人がそうやとは言いませんけれども、ホームページを真面目に読んだ方がそういう受けとめられ方を起こす可能性が出てく

るっていう危険性は、ちゃんと考えてやらないと大変な目に合うと思います。

(委員) 他の委員の方の意見をもう少し聞いていただいたらどうですか。大事な問題だと思いますので。審議会の権威にも関わると思うので。

(副会長) そうですね。他の方もご意見をお願いしますか。会長ももしご意見いただけたらお願いいたします。

(会長) 僕も同意です。エビデンスを明確にして回答されたらいいのかなと思います。

(杉本委員) 相手さんがわかってるんだったら確かにその回答の仕方だけはきちんとしないと、またそこで間違うと大変なので、相手がわかってたらもうその相手にだけそれを回答してってことも考えてもいいと思います。委員さんが言われたように、ご意見があったけどそれをその他とするっていうホームページへの載せ方ができればいいと思います。

(委員) こういう考え方の方も一定いますよね。ニュースでそんなん見てる人もおるだろうけど、数字がわかってるやつはちゃんと回答したほうがいいと思います。

(委員) よろしいですか。日々子どもたちと向き合っている学校現場を預かる者としてなんですが、たまたま私、学校現場を見てる途中に、国立の曽爾青少年自然の家に3年間ちょっと人事交流で行かせていただいていたんです。少し話が長くなって恐縮なんですけど、入浴施設があります。そこは当然男女別になっているんですが、学校利用のときに、10校あれば大体1、2校は大浴室と別に小浴室がありまして、その利用を申請したいという申し出があります。それは例えば生理対応であるとかってことも当然あるんですが、やはりこのLGBTQの配慮が必要な児童生徒がいるんですっていうことが、私が行ったときなんでもう10年近く前ですけども、その段階でもあるんです。やっぱり子どもたちを見てると、そのことで心病んで生きづらさを感じている子どもたちっているんです。やっぱりそこを無視することはできないと思っています。やはり生きづらさを感じてる子どもたちがいる以上、その子たちが悪いわけではない。システムとして、私たち周りにいる大人をはじめ、周りにいる方がやっぱり考え方を変えていく築いていくってことが大事なんじゃないのかなと思います。そのための市の大きな施策っていうのを明文化して示すってことは、すごく応援する1つになるんじゃないのかなと私は感じました。なので、客観的な数字であるとか、こういったことで悩んでる人がいるよ、こういった方法でアプローチすると、みんなが気持ちよくいろんな施設を利用することができるとか学校での学びの時間が増えるとか、そんなふうにつなげていけるといいんじゃないのかなと私は思わせていただきます。

(副会長) 他にいかがでしょうか。

(委員) 回答に対しての文言というか文字数の制限があるかどうかは別ですけど、あんまりたくさん書いても大変なのかもわかりませんが、やっぱり要点絞って書いていただくことと、それから、例えば外国人の問題については、名張市の人権センターのこういうところのホームページを参照してくださいとか案内すると、多文化共生とかでいろんな取組をやってるところが見れるじゃないですか。それが、市からの支援でやってるのか、自分たちで頑張ってるのか、それとも多少の助成金はもらってるけど人権センターっていう団体が応援してやってんのかとかいうのもわかるし、参考資料だけでも、三重県の人権教育の冊子参照とかするだけでも、今、LGBTQのこととかも出てるやろうし、こういうことに基づいて進めてますっていうことを、要旨としてはもちろん変えてもらわなあかんけど、1つの質問に対して、文字数の多い返事をするは大変やろうと思いますから、こういうところを見てもらえば大丈夫ですよっていうので、ホームページや、いろんな参考文献に飛ぶような資料みたいなものをつけてもらってもいいんじゃないかと思います。

(副会長) 今いただいたご意見ですと、おそらくホームページで具体的に客観的な数字をつけて、ご丁寧に回答するという方向になっているかと思いますが、そこはまた多分、市のほうで考えていただくんだと思いますし、今言うてくださったように字数制限もあるでしょうから、参照ページをつけてここを見てくださいという飛ばし方をすると回答しやすいかもしれませんね。それをお読みになってこのご意見くださった方が納得するかどうかはちょっと分かりませんが、それを見た他の市民の方がこれを読んで、誤った理解の仕方にはならないのかなと思います。

(委員) よろしいでしょうか。ご意見ありがとうございます。委員の先生方がおっしゃる通りの心配であったり、そういう思う方もいたりすると思いますので、もう一度パブリックコメントのルールというのを事務局の方でしっかり確認させていただきまして、例えばその意見というところでも、こういう別紙が使われたり、表記の仕方であったりとか、すべての意見に対して回答するっていう原則ルールがあるんであれば、先ほど委員の方からいただきました、調査結果等を踏まえてあるいは専門家の意見というのも聞くということではなくて、先生おっしゃっていただいた、今出てる専門家の見解・意見っていうのを添えて、きちんとしっかりと丁寧に回答するべきじゃないかということでございますので、そういったものを根拠として示させていただきながら、回答していくようにさせていただきたいと思います。少し判断迷うようなところはまた委員の先生方にも、ちょっとご教授いただくような場面があるかと思いますが、まずパブリックコメントのルールを確認して、委員がおっしゃっていただいたように、相手としてはそういう目的があるのかどうかわかりませんが、市のホームページに載せることも、もしかして意図してるようなところもあるか

もわかりませんので、そのルールをしっかりと確認をした上で、そういう対応をさせていただきたいと思います。委員という立場なのか事務局という立場なのかわからないようなポイントになって恐縮なんですけども、そういう形で進めていきたいというふうに思いますので、事務局よろしく願いいたします。

(副会長) ありがとうございます。今まとめていただきました方向で、事務局の方、大変だと思いますけれども、よろしく願いいたします。他のご意見はよろしいでしょうか。そうしましたら、次の資料2についての説明を事務局のほうからお願いいたします。

(2) 答申書について

【資料2】【事務局説明】

(副会長) ありがとうございます。こちらの答申に関しまして、何か委員の方からご意見、ご質問ございましたらお願いします。

(委員) いいですか。

まず1枚目についてですけれども、基本的にこの審議会は西暦と元号を併記してあるというのが原則だと思うので、それは守っていただきたいというのが1点と、本文の最後のまとめ方が、審議会として別紙の通り論点整理を行いましたのでとありますが、審議会として別紙の通り提言いたしますというふうな文章のタイトルに合わせたほうがいいと思います。

それから2枚目について言いますと、数字の1番と2番のところで、条例等が採択・発行されてきてとありますが、発行は効果の方の効になると思います。条約とかそういうものを発行する場合は、効力が発効するなので、行ではないので、ここだけはちょっと訂正していただいた方がいいと思います。

(事務局) ありがとうございます。

3の子ども基本法も、子どもは3文字ともひらがな表記ですね。

(副会長) 他に何かございますか。特に他にはご意見がないようですので、以上ご指摘いただいたところの修正をよろしく願いいたします。

そうしましたら答申についても終わりましたので、その他何かご意見、ご質問等がありましたらお願いしたいと思いますが、何かご意見のある委員の方いらっしゃいますか。よろしいでしょうか。松村会長もよろしいでしょうか。

(会長) 大丈夫です。

(事務局) 今ご意見いただきました第4次人権施策基本計画、それから答申等につきまして、今後のスケジュールをちょっとだけご説明させていただきます。

資料1-5をご覧ください。策定スケジュールってということで、以前の会議でもお示しさせていただいてるんですが、今後についてということで、本日12月20日にこのパブリックコメント集約後の審議会ということで、来月1月7日に主管室長会議がございまして、その後に庁議1月15日、2月に議会報告ってということで3月議会のときに最終案ということで、この計画を提示させていただくような形になります。3月には答申っていう形で、審議会から市長に対してこういう形でまとめさせていただきましたっていう、この資料2の部分を出させていただくことになるんですが、こちらについては会長に来ていただいて、市長に答申していただく、資料等をお渡ししていただくっていうふうにさせていただきますので、他の委員さんの方にご出席いただくということではないんですが、会長には3月に来ていただいて、最後に答申という形でお願いいたします。ですので、2月の会議までに開催させていただく審議会は今日が最後になりますので、この計画案で議会に諮らせていただきます。

(副会長) ありがとうございます。そうしましたら、今後のスケジュールを教えてくださいました通りで、会長にはまた来ていただくということでよろしくお願ひしたいと思います。それでは、会長から最後に一言ご挨拶いただけましたら助かります。

(会長) もう大丈夫です。すいません。今日、急遽進行役になっていただいてありがとうございます。

(副会長) 体調が悪いのに、すみません。では、今年は去年に比べて回数多く皆さん集まっていたかしまして、熱心にご協議いただきましてまとめることができたかなと思います。一番事務局が大変だったと思いますが、まだ今後もありますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上で本日の会議はちょっと早いですが終了でいいですかね。では事務局お願いいたします。

(事務局) ありがとうございます。委員の皆さん、4回の審議会で大変頭を悩ませていただいたかと思います。最後宿題をいただいたような形で終わったんですけども、また回答につきましては私どもの方で精査させていただきますので、一応基本計画の方はこちらの方でさせていただこうかと思います。

それではまた次年度、提案、提言いただきます条例に関しては、またお世話をおかけすると思っておりますけども、よろしくお願ひいたしたいと思っております。本日はどうもありがとうございます。ありがとうございました。

1 2時終了